

企業アンケート調査集計結果

2019年9月30日（月）

大阪経済法科大学 キャリアセンター

・調査の概要

- ①実施時期：2019年9月17日（火）～9月29日（日）
- ②対象：2016年度～2018年度卒業生の就職企業等 697件
- ③回答・回収状況 176件 （回収率：25.2%）
- ④調査項目・・・本学の養成する人材像の育成について
卒業生の採用状況・方針
大卒者の働く上での能力
大学教育に対する要望 など

・アンケート回答結果

【1】回答企業の本社所在地

回答企業の本社所在地	回答企業数
大阪府	86
東京都	41
京都府	9
兵庫県	8
愛知県	6
広島県	5
奈良県	5
愛媛県	2
滋賀県	2
島根県	2
北海道	2
岡山県	1
香川県	1
埼玉県	1
新潟県	1
神奈川県	1
大分県	1
福岡県	1
和歌山県	1
総計	176

【2】回答企業の雇用者数

回答企業の雇用者数	回答企業数
～19人	2
20～99人	19
100～299人	40
300～999人	50
1,000人以上	65
総計	176

【3】回答企業の主たる業種

回答企業の主たる業種	回答企業数	割合
1. 農業・林業	0	0.0%
2. 漁業	0	0.0%
3. 鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0%
4. 建設業	5	2.8%
5. 製造業	13	7.4%
6. 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%
7. 情報通信業	12	6.8%
8. 運輸業、郵便業	11	6.3%
9. 卸売業、小売業	84	47.7%
10. 金融業、保険業	5	2.8%
11. 不動産業、物品賃貸業	8	4.5%
12. 学術研究、専門・技術サービス業	1	0.6%
13. 宿泊業、飲食サービス業	10	5.7%
14. 生活関連サービス業、娯楽業	3	1.7%
15. 教育、学習支援業	1	0.6%
16. 医療、福祉	4	2.3%
17. 複合サービス事業	0	0.0%
18. サービス業（他に分類されないもの）	19	10.8%
総計	176	100.0%

【4】回答企業に現在在籍している大阪経済法科大学出身者人数

大阪経済法科大学出身者人数	回答企業数	割合
0名	38	21.6%
1名	30	17.0%
2名	24	13.6%
3名	18	10.2%
4名	13	7.4%
5～10名	27	15.3%
11名～19名	5	2.8%
20名以上	7	4.0%
把握していない	14	8.0%
総計	176	100.0%

【5】回答企業・団体に勤務する大阪経済法科大学の卒業生について以下の能力が身につけていると思われるか

【5-1】学問の幅広い知識

学問の幅広い知識	回答企業数	割合
1. 身につけている	79	44.9%
2. どちらとも言えない	91	51.7%
3. 身につけていない	6	3.4%
総計	176	100.0%

【5-2】社会での実践応用力

社会での実践応用力	回答企業数	割合
1. 身につけている	121	68.8%
2. どちらとも言えない	53	30.1%
3. 身につけていない	2	1.1%
総計	176	100.0%

【5-3】豊かな人間性

豊かな人間性	回答企業数	割合
1. 身についている	129	73.3%
2. どちらとも言えない	45	25.6%
3. 身についていない	2	1.1%
総計	176	100.0%

【5-4】国際感覚（異文化理解）

国際感覚（異文化理解）	回答企業数	割合
1. 身についている	25	14.2%
2. どちらとも言えない	139	79.0%
3. 身についていない	12	6.8%
総計	176	100.0%

●【5】のアンケート結果について

学問の幅広い知識については、「身についている」（44.9%）と答えた。社会での実践応用力・豊かな人間性では、それぞれ（68.8%）、（73.3%）の企業が「身についている」と回答しており、一定の評価を得られている。国際感覚はどちらとも言えないと答えた企業が（79.0%）と非常に多い結果となっている。

【6】大阪経済法科大学の教育についてどのような力の育成を充実するのが望ましいか ※複数回答（3つまで）

大学で今後充実すべき教育	回答企業数
1. 専門的知識・技能	12
2. 情報収集力	14
3. コミュニケーション力	44
4. 周囲（他者）へ配慮する力	21
5. 社会的責任等の態度・志向性	19
6. 問題解決力	23
7. 基礎的知識・技能	14
8. 論理的思考力	20
9. 自己管理能力	19
10. 倫理観	5
11. 課題探求能力	13

（その他）

- ・主体性
- ・リーダーシップ力

●【6】のアンケート結果について

企業が求める育成に関する取組については、「コミュニケーション能力」「問題解決力」「周囲（他者）へ配慮する力」と続き、対人関係に関する力が求められていることがわかる。

【7】回答企業が採用する大学生について「在学中にしっかりと経験しておいて欲しいこと」は何か ※複数回答（3つまで）

大学で今後充実すべき教育	回答企業数
1. 一般教養の勉強	30
2. 専門的な勉強	9
3. ゼミ・研究活動	21
4. 部活・サークル活動	27
5. アルバイト活動	25
6. 海外留学	3
7. ボランティア活動	8
8. 旅行	8
9. 資格取得	9
10. 語学勉強	7
11. インターンシップ	16

（その他回答）

- ・なんでも良いので熱中するものがあること
- ・周りに流されるのではなく自分で考えて行動する経験。
- ・その個性に応じたこだわりを明確にし、それに基づく経験を積んで欲しいです。
- ・何かについて「頑張って取り組んだ」と旨を張って言えるようになって欲しいです
- ・様々な年代の方とのコミュニケーション

● **【7】のアンケート結果について**

企業が学生に経験しておいてほしいことで最も多い回答は「一般教養の勉強」（30件）となっている。逆に、「専門的な勉強」（9件）や「語学勉強」（7件）といった項目はそれほど多くなく、基礎学力をしっかりと身につけてほしいといった傾向があると言える。また、部活・サークル（27件）などの課外活動での経験や、アルバイト（25件）を通じた就労体験を求める声も多い。

【8】社会人として必要なこと、学生時代に身につけておいて欲しい能力や資質、経験しておいて欲しいことは何か（自由記述）

身につけておいて欲しい能力や資質

責任感・主体性・実行力・誠実さ・自ら考える力・整理整頓・学ぶ姿勢・好きな物や事柄にじっくり取り組む姿勢・目標に挑む力・マナー・コミュニケーション能力・一般常識・自己管理能力・自身の行動・業務に対する責任感・協調性・問題解決能力・チャレンジ精神・パソコンスキル・PDCAの習慣・自己理解（長所や短所を知る）・自分の表現の仕方・周囲への感謝や気配り 等

経験しておいて欲しいこと

クラブ・サークル・アルバイト・様々な年齢層や価値観の違う相手との交友・失敗経験・何かしらのスポーツへの取り組み・沢山遊ぶこと・自己啓発 等

【9】大学の教育に望むことは何か（自由記述）

- ・基礎学力の維持向上
- ・専門知識の習得
- ・地域との連携
- ・専門分野にかかわらず社会的好奇心を伸ばせる教育風土
- ・さまざまな事象に挑戦していくことのできる人物の育成
- ・ゼミや研究活動等、大学生にしかできない事への経験を多く積める機会
- ・学生が私は「このこと」なら負けないと思える自信をもてること
- ・一般的な常識を常識として御理解頂ける様な人材の輩出
- ・英会話など国際感覚を身につけられる教育
- ・他者と意見が違っても、臆せず自分の意見を伝える力を養えるようなカリキュラム
- ・自ら考え、自ら行動し、やりぬく力を身につけるプログラム
- ・社会で生きる為の人間力
- ・社会への貢献と自分自身の幸せを両立できる人材の育成を望みます。
- ・社会情勢、新聞等を読む習慣をつけさせて欲しい
- ・社会人として即戦力となる人材。
- ・色んな仕事・会社を選べるような授業および環境作り
- ・人格の涵養、社会への使命感
- ・人間力向上に期待しています
- ・インターンシップ等、学生と社会人の違いを知る機会
- ・様々な「でなければいけない」と言う思考をなくせるような人の育成
- ・独創性を持ちながら集団内を上手に立ち回れる人物を育成できる教育
- ・勉強で学ぶことと、人間のコミュニケーション能力を伸ばすことが良いかなと思います。

以上